



# 東京都立駒場高等学校

## 令和5年度入学者選抜概要

令和4年10月29日版

※ホームページ掲載の  
最新版をご確認ください

### I 募集定員について

	普通科 < 8学級 >			保健体育科 < 1学級 >
	男子	女子	合計	男女
募集定員	165名	151名	316名	40名
推薦に基づく選抜【推薦選抜】	33名	30名	63名	12名
学力検査に基づく選抜【第一次募集】	132名	121名	253名	28名

※推薦選抜の定員は、普通科は定員の2割、保健体育科は定員の3割です。

※普通科の第一次募集では「男女別定員の緩和」を実施します。  
 定員の8割（男子106名・女子97名）を男女別に選抜後、残りの2割（50名）  
 を男女合同で選抜します。

普通科の令和5年度入学生については、1学級増の定員となります

### II 日程について 普通科・保健体育科共通（表中で特に記載のないものは令和5年）

	出願サイト 入力期間	書類提出 期間 (郵送)	取り下げ	再提出	検査 実施日	合格 発表日
推薦 選抜	令和4年 12月20日 ～1月18日	1月12日 ～18日必着	=====	=====	1月26日	2月2日
第一次 募集	令和4年 12月20日 ～2月7日	2月1日 ～7日必着	2月13日	2月14日	2月21日	3月1日

※追検査・第二次募集等は、ホームページにて別途ご案内します。

※時間等の詳細については省略します。

※推薦に基づく選抜及び第一次募集は、インターネットを活用した出願となります。

詳細については、ホームページにて別途ご案内します。

### III 検査の概要 普通科

#### 1 推薦選抜

##### (1) 推薦基準等

- ア 本校を第一志望とし、在学する中学校長の推薦を受けた者。(都内に所在する中学校等)  
イ 「本校の求める生徒の姿」を参照して下さい。

##### (2) 配点

	調査書	個人面接	作文	実技検査	合計
一般推薦	360点	180点	180点	———	720点

##### (3) 調査書の得点算出方法について

- ア 各教科の5段階の評定(合計45)を8倍します。(教科による傾斜配点はありません。)

##### (4) 個人面接について

- ア 1人10分程度の個人面接を実施し、以下の観点で総合的に評価します。  
イ 評価の観点は次のとおりです。

- ① コミュニケーション能力、リーダーシップ                      ② 思考力、判断力、表現力  
③ 出願の動機、将来に向けた意欲                                      ④ 規範意識、生活態度

##### (5) 作文について

- ア 検査時間は50分です。  
イ 字数の目安は、すべての設問の合計で600字程度(設問数は非公開)です。  
ウ 評価の観点は次のとおりです。

- ① 課題把握力                      ② 判断力、思考力                      ③ 表現力

##### (6) 自己PRカードについて

- ア 「本校の求める生徒の姿」を参考に記入してください。  
イ 生徒会活動・部活動・ボランティア活動・資格・検定など、中学生の時の実績について記入してください。出場大会等は、名称・時期・等級等を省略せずに正しく記入してください。  
ウ 個人面接等で活用されます(※記載内容が必ず質問されるとは限りません)  
エ 記載実績を(「□□検定△級合格は◎点加算」のように) 直接得点化することはありません。

#### 2 学力検査に基づく選抜(第一次募集)

##### (1) 配点

	調査書	学力検査	学力検査科目	英語スピーキングテスト	合計
第一次募集	300点	700点	国・数・英・社・理	20点	1020点

##### (2) 調査書の得点算出方法について

- ア 各教科の5段階評定を基に、学力検査科目(5科目)は1倍、それ以外の教科(4科目)は2倍し、65点を満点とした点数(換算内申)を300点満点の調査書点に換算します。  
調査書点=換算内申(65点満点)×300÷65 (ただし、小数点以下切り捨て)

##### (3) 学力検査について

- ア 本校は、全ての検査科目を都の共通問題で実施します。  
イ 国語・数学・英語・社会・理科の学力検査は、それぞれ100点満点です。  
ウ 5教科の合計得点を1.4倍(合計得点×700÷500 ただし、小数点以下切り捨て)して、700点満点に換算します。

##### (4) 「中学校英語スピーキングテスト」(ESAT-J)について

- ア 「中学校英語スピーキングテスト」(ESAT-J)の結果について、Aは20点、Bは16点、Cは12点、Dは8点、Eは4点、Fは0点とします。  
イ 概要や、都内公立中学校以外に在籍している中学生向けの情報等については、東京都教育委員会ホームページをご覧ください。

<https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/school/content/esat-j.html>

## IV 検査の概要 保健体育科

### 1 推薦選抜

#### (1) 推薦基準等

ア 本校を第一志望とし、在学する中学校長の推薦を受けた者。(都内に所在する中学校等)  
イ 「本校の求める生徒の姿」を参照して下さい。

ウ 出願時に、本校所定の「体育調書」を提出すること。

用紙は、令和4年12月1日以降、本校ホームページからダウンロードしてください。

#### (2) 配点

	調査書	個人面接	作文	実技検査	合計
一般推薦	270点	90点	90点	600点	1050点

#### (3) 調査書の得点算出方法について

ア 各教科の5段階の評定(合計45)を6倍します。(教科による傾斜配点はありません)

#### (4) 個人面接について

ア 1人10分程度の個人面接を実施し、以下の観点で総合的に評価します。

イ 評価の観点は普通科と同じです。(前ページ参照のこと)

#### (5) 作文について

ア 検査時間は50分です。

イ 字数の目安は、すべての設問の合計で600字程度(設問数は非公開)です。

ウ 評価の観点は普通科と同じです。(前ページ参照のこと)

#### (6) 実技検査について

ア 運動技能テストを行います。(男女とも専門種目から1種目を選択)

イ 評価の観点は次のとおりです。

① 専門的運動能力      ② 基礎体力      ③ 将来性

#### (7) 自己PRカードについて

ア 普通科と同様に扱います。(前ページ参照のこと)

### 2 学力検査に基づく選抜(第一次募集)

#### (1) 出願時の注意

ア 出願時に、本校所定の「体育調書」を提出すること。

用紙は、令和5年1月19日以降、本校ホームページからダウンロードしてください。

#### (2) 配点

	調査書	学力検査	学力検査科目	英語スピーキングテスト	実技検査	合計
第一次募集	400点	600点	国・数・英	20点	300点	1320点

#### (3) 調査書の得点算出方法について

ア 各教科の5段階評定を基に、学力検査科目(3科目)は1倍、それ以外の教科(6科目)は2倍し、75点を満点とした点数(換算内申)を400点満点の調査書点に換算します。

調査書点=換算内申(75点満点)×400÷75 (ただし、小数点以下切り捨て)

#### (4) 学力検査について

ア 本校は、全ての検査科目を都の共通問題で実施します。

イ 国語・数学・英語の学力検査は、それぞれ100点満点です。

ウ 3教科の合計得点を2倍して、600点満点に換算します

#### (5) 「中学校英語スピーキングテスト」(ESAT-J)について

ア 普通科と同様に扱います。(前ページ参照のこと)

#### (6) 実技検査について

ア 基礎体力テスト(ジグザグ走、立幅跳、シャトルラン、上体起こしの4種目)及び運動技能テスト(男女とも専門種目から1種目を選択)を実施します。

## V 本校の求める生徒の姿

駒場高校は100年を超える歴史の中で、学業と部活動の両立の下に優れた実績と伝統を築いてきました。そのような本校の良き伝統と校風を理解し、学校生活の様々な場面において意欲的に取り組む生徒を期待しています。具体的には、以下の項目に該当する生徒を望んでいます。

### 【普通科】

- 1 難関大学進学等、将来への高い志をもって具体的な目的意識のもと、学習活動に取り組む生徒
  - 2 部活動、生徒会活動、学校行事等の特別活動、ボランティア活動等に積極的に取り組んできた生徒で、入学後もいろいろな場面で活躍が期待できる生徒
  - 3 総合的な学習の時間等において、はっきりとした問題意識や目的意識をもって意欲的に取り組んできた生徒
- ※ 特に推薦選抜においては、リーダーとしての資質や、上記2、3などにおける特筆すべき能力のある生徒が望ましい。

### 【保健体育科】

- 1 本学科における「広い教養と保健体育の専門性を目指す」教育内容を理解し、明確な目的意識をもって学習する生徒
  - 2 本学科の指定する次の種目のいずれかを専門種目とする生徒  
陸上競技（男女）、体操競技（男女）、柔道（男女）、剣道（男女）、水泳（男女）、サッカー（男）、バレーボール（女）、バスケットボール（男）、バスケットボール（女）
  - 3 上記種目において将来性があると認められる生徒
  - 4 特に学習面においても、本学科の教育活動に適応できる学力を有する生徒
  - 5 将来スポーツ、保健体育に関する指導者として、社会各方面での活躍を希望する生徒
- ※ 特に推薦選抜においては、リーダーとしての資質や、上記2、3などにおける特筆すべき能力のある生徒が望ましい。

## VI その他

- 1 合格可能性・合否ラインについて

### (1) 個別相談等含め、一切お答えすることができません。

ア 出願者の動向は、他校への出願動向も含めた様々な要因により毎年変動するため、厳正な入学者選抜を実施するうえで不確実な予想を示すことはできません。

イ 塾・出版社等で行っている合格判定等については、それぞれの団体のもつ独自の情報や分析に基づくもので、本校がそのデータについて関与・保証等をするものではありません。

- 2 応募資格・出願方法等について

(1) 都内公立中学校等に在籍の方は、在籍中学校にてご確認ください。

(2) 次に該当する場合は、必要に応じて本校副校長まで個別にご相談ください。

ア 本校の受検にあたり、特別な対応（特別措置）が必要となる場合

イ 都内の国立・私立中学校等に在籍していて、本校への進学を検討している場合

ウ 現在都外に居住していて、転居して本校への進学を検討している場合

(3) 保健体育科については、教育課程（カリキュラム）等が普通科とは大きく異なります。適切な進路選択のためにも、入学希望の場合は、本校保健体育科の学校説明会に参加していただくなど、事前に内容を把握しておいていただくことを強くお勧めします。

（なお、説明会への参加の有無等が入学者選抜の合否に関わることは一切ありません）

以上